

画家  
HIRO 石井さん

1947年生まれ。21歳で渡仏。40余年にわたり、フランスを中心に東欧、アフリカ、東南アジアと日本を往来。全国に多くのファンを持ち、アトリエをこの度東京から三原佐木島に移す。

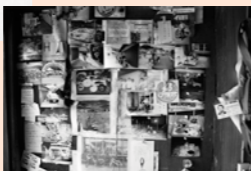
# ミハラビト その2



この海は本当に素晴らしい!



この自転車で日本全国を駆け巡っているそうです。

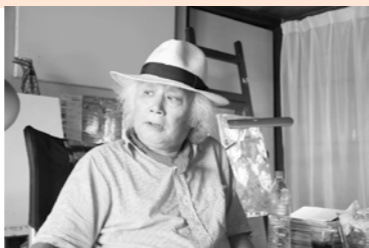


世界から来客があるアトリエ。

「世界に誇れる佐木島は  
三原最高の場所だ」

を楽しむ

「風と旅の絵描きヒロ石井」として全国にファンを持つ画家の石井さんは、40年にもわたり**世界中**を旅しながら絵を描き続けてきた本物の**旅人**だ。夏の北海道では自転車でライダーハウスを廻り、また冬の瀬戸内では多くの島々でテント生活をしながら、アトリエを構える場所を7年間探し続けた。そしてついに見つけた理想の場所が**佐木島**。さまざまな柑橘類、**瀬戸内海**を目の前に臨む島の環境は、制作の原点である南フランスやイタリアの地中海沿岸と匂いまで似ており、ベネチアの海よりも**美しい**と絶賛。**佐木島の人の**紹介で借りれた古民家を改装したアトリエ兼住居には、旅の**仲間**がふらりと訪れることもよくあるという。常に、この魅力的な島をどう活かすべきか思いを熱く語る石井さん。**島の皆さん**と共に、佐木島の活性化に向けた活動にも積極的に参加している。



アトリエにいる彼はやはり芸術家。

# ミハラビト その1



南の方角にとっても広く空が広がっている久井の風景。



オメガ星団がこんなに綺麗に撮影出来る事はめずらしいそうだ。



を眺める

「来るべくしてここに  
来たとしか思えません」

ちょこっと  
三原情報!



久井町の宇根山にはとっても大きな反射望遠鏡や屈折望遠鏡のある天文台があるよ。



「この角度から撮影しはじめるでしょ・・・」  
スゴく楽しい星のトークが続きます。

東京都墨田区から**久井町**に移り住んだ吉野さんは、「関連の技術者だ。インターネットを通じてどこでも仕事が出来たようになった今、都心は「住まう」だけでさまざまなコストが多くかかると感じ、**ゆとりある生活**を求めて地方への転居を決断。移住先を徹底的に調べる中で、市や地域の親身な支援が得られたことや趣味の**天体観測**が庭で出来るという立地から久井町吉田地区に移住を決めた。嬉しい誤算だったのが、**近所の人達**との人間関係。お互い弱みを隠さず、虚勢をはずす、気にかけているが干渉しすぎない距離感が非常に心地よいのだとか。また、地元の方からの「外から来た人の力を借りたい」という言葉は特に嬉しかったそうで、それに応えて地域の活動に積極的に参加し新たな視点で様々な提案もしている。**星を愛する吉野さん**、ご自身もまた地域にとつての**新しい「星」**であると言えそつだ。



星を追いかける男  
吉野 浩一さん

# 海